

東郷村報

昭和27年10月28日
 發行所 宮崎縣東白杵郡
 東郷村役場
 日向市富高町
 印刷所 安藤印刷所
 電話 64番

村民税の負擔は

果たして重いでせうか！

税金を通じての村政批判は聞きがしのできないものが多い、其中で先ず村民税は高いと云う聲が取り擧げられるがこれに對してはもう一度次の点を考えてみる必要があると思う。

税の問題になると納税者の立場から誰しも軽い事を希望するのは當然であるが、只税の軽減だけを希望するのは、いわば單なる陳情者の立場であつてお互一人一人が村の政治を行う権利を持つてゐる立場から考へるならば税の重い軽いを論ずる前に税が何に使はれてゐるか自分の思う通り村政が行はれてゐるかそして税は何程徴収する必要があるか等について自ら判断し假に軽減するとなればその金額はどの程から差引かねばならないかを充分検討してからでなければならぬと思ふ。村民の中には二、三年の間一錢の税金も納めていない人や相當額の滞納を持つてゐる人が尠くないが他方では

一、道路を直せ
 二、學校を増設せよ
 三、病院を作れ
 四、社會事業を積極的にやれ
 五、何々の補助を呉れろ等々増税をしなければできないような事ばかりを要求する。

勿論村行政に對して積極的

注文をつけることはそれ自体結構なことである、併しこうした聲の主が一方では唯徒らに減税のみを叫ぶ矛盾は民主主義的治下に決してあつてはならない筈であつて、税を通じて政治行政の健全な發達のため重要な方針であるのでお互に國民として納税の義務を履行し、納税者の立場より地方團體當局者が地方税の運営を如何にしてゐるか己の欲す

がしてあり固定資産税や村民税が増税になつても差引して相當な減税となるのであるから決して苛酷には當らないと云う結論になる。とまれ「税を通じて政治行政の健全な發達のため重要な方針であるのでお互に國民として納税の義務を履行し、納税者の立場より地方團體當局者が地方税の運営を如何にしてゐるか己の欲す

滞納を一掃した!!!

かくして落部の

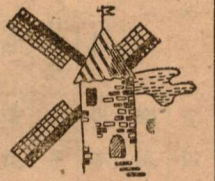
國民待望の平和條約が愈々効力を發することになり芽出度國際社會に仲間入りをする事になりましたが我が國が名實共に獨立國家としての地位を得る爲には尠くとも自主性ある國家にふさわしい經濟自立が急務でありますのでこの機會に村民一丸となつて貯蓄の強化に努め一日も早く眞の獨立國家としての地位を築くべきでありますその爲には現在のように尠大な村税の滞納を持つことは村の經濟自立の妨げとなつてゐる以上、

行政が行はれてゐるか更に村財政運営の状況はどうか等々再検討して正しい批判ができるようになった時村民一体の協力による眞に明るい豊かな村政が確立されるのではないでせうか。

昭和二十五年に於ける村税滞納は五百萬の尠大な數字を示したが其後村民の涙ぐましい努力によつて現在に於ては昭和二十六年以前に於ける滞納額三百萬に縮減された事は村政運営の爲に同慶に堪えないところであります。今尚三百萬円滞納を有する事は何んとした大い痛手でありこれが村政に及ぼす影響は極めて甚大である。幸い今年には近年稀なる農作物の豊年に當りこれが收穫後の納税は大いに期待が懸けられてゐるが各位の絶大な御協力を切にお願ひ申上げる次第であります。

盛上る感激の納税貯蓄組合長會が村の滞納一掃を誓ふ!!!

先づ納税貯蓄組合の設立を呼びかけ村民一丸となつて滞納一掃に努力する必要がある。十一月より組合設立を奨励して参りましたが更に平和條約發効を契機として強力なる設立運動を進めて参つた次第であります幸い皆さんの御理解と御協力により既に現在迄に正式届出された組合が五十組も設立され着々納税成績を擧げておられます。これは御同慶に堪えないところであります。



文化祭

東郷村の

昭和二十七年年度の文化祭は左のように實施します

一、分館の文化祭

(1) 各分館が任意に實施してはもらつていましたが、本年は全館實施していただきます。

(2) 出品物等については本館で實施されるものものちから三つ以上とり上げて

ころで村内には尠二十組以上の組合未結成部落がありながらも既に結成された組合の中にも實際の組合活動に至つておられない組合も見受けられましたので去る十六日村議會議事堂に於て納税貯蓄組合長會を開催致しまして村税滞納一掃について次を通り眞剣なる折合せ會を開催致しましたので御報告申し上げます。

この日役場側では村長始め収入役、經濟課長、税務課職員、各係職員十六名及農協側では東郷農協組合長全購買主任坪谷農協支所長代表が出席して村内納税貯蓄組合長並びに部落組合長四十名と共に滞納の原因滞納一掃の方法、その時期等について協議し活發なる質疑應答を行い意義ある一日を終えた。

先ず村長より税の意義について詳しい説明があり更に昭和二十七年年度の村算及滞納が及ぼす行政上の支障並びに納税組合長に對する今後の納税協力についての依頼等一時間に亘る挨拶があり引續き賦課徴収各係主任の事務報告と説明があつた尠當日は福瀨出口納税

保安大学校志願案内

保安大学校は將來保安隊の幹部保安官及び警備隊の幹部警備官となるべきものを養成する學校で保安隊及び警備隊はわが國の平和と秩序を維持し人命及び財産を保護するため特別の必要がある場合において行動する部隊であります。保安隊は主として陸上において、警備隊は主として海上において行動することを任務とします。

保安大学校は保安隊の附屬機關として、この目的のために新設されたものであります。

保安大学校の教育訓練は學生をして陸上又は海上部隊の指揮官としての能力を養成せしめることを主眼とし、並に縣又は出身高等學校において志願票の交付をうける

種目

稲(三株説明書添付)
 甘藷(一蔓) 蔬菜(大根 白菜類三株) 里芋(一株) しょうが(一株) ござう、にんじん(五本) ねぎ(一把廻り約一尺) じゃが芋(一貫) 他一個

雜穀 豆類(一升) とうきび(三穗) 粟そば等(一升)

果樹 みかん柿(十個) 栗(五合)

推茸(百匁) 木炭(一俵) 農産加工 茶(五〇匁) みそ(百匁) 醬油(二合) こうじ(二合)

味噌、醬油は原料説明書添付

郷土の各種の統計その他表寫真等陳列

以上簡単に會の模様を御報告致しましたが今年には近年にない豊穰の秋に當りますので收穫後の納税には各位の御協力を切にお願ひ申上げる次第であります。

一丁

農業の魔術

肥料を葉にまくはなし

「みなさんは作物に肥料をほどこすには、どこにほどこしますか」と聞いたところ、「そんなこと、肥料は地面にほどこすものときまつてゐるではないか。だつて植物というものは榮養分を根から吸収するにきまつてゐるのだから……」と答えるにちがいない。しかしついでにきんになつて植物は葉からも榮養分をとることがわかつてそれ以來は肥料を葉にまいてやる「肥料の葉面散布」という方法ができてきたのです。

そんな方法も、日本でこそまだ大學や農事試験場で研究してゐるだけに過ぎないが、アメリカではすでに實用化されてゐて、そのためとくべつ肥料まで作られて賣り出されてゐるのです。また現に多くの農家がこの方法をやつて、大變よく成績をおさめてゐます。こと

に日でりがつまいたり、雨が降りつゞいて作物がいたんでゐるときに、コムギや果樹、野菜、桑、牧草などにやると大變よくくといわれてゐます。この魔術の種あかしは次報に致しましょう。

分館の研究会
 羽坂、鶴之内、小の田、追之内四館を除く他の分館は十二月から三月までに研究会を開催することになりました。

その方法は各分館に一任しその館で特に研究した事項について公開することになりました。

公開の期日については本館からお願ひすることに致します。

等學校を通じ又は直接「保安隊、第四管區總監部(福岡縣築紫郡春日村須坂)」あて提出して下さい。

(1) 志願票一葉
 (2) 寫真三枚(志願票所定の欄に貼付する)
 (3) 高等學校卒業生及び卒業見込の者は出身學校長の調査書二通
 (4) 高等學校卒業生と同等以上の學力があると認められた者はその成績證明書及び合格證明書各二通
 三、志願受付期限
 自十月二十五日
 至十一月十五日二四、〇
 ○までに必着のこと
 その他不明の点は役場にお問合せ下さい

牛は農家の寶



畜産

春秋を重ねるに東郷畜産の有り方が明らになり、十月三日、四日、五日の三日間開催され牛馬の審査が宮崎に於て行はれました。本村より視察團一行三〇名が十月四日の牛馬の比較審査を見學致しました。

一頭の牛に数名の人が付いて手入れに真剣になつてゐる情景には先づ感心させられたのでした。審査が始まり二〇頭位の牛が二列横体に並び間隔を置き不動の姿勢で整列し四肢を正直に微動だもせぬ配列の姿は涙ぐましいかぎりでした。かくも手入れされ調教される人の骨折れもさることながら、訓練によつては抜に復歸し向上昇の氣運に好轉致しました。養豚家の御奮闘を祈ります。

二、宮崎縣畜産共進會開催

三、九州連合畜産共進會開催

大分に於て十月九日より五日間開催されました九州連合共進會には宮崎縣より和牛九頭、乳牛三頭、馬八頭その他中小家畜各種が出品され、各縣の優秀畜産の覇が競はれたのでした。内和牛黒毛和種の宮崎縣出品成績を申し上げます。

豚の移動禁止解除
豚コレラ發生の爲め縣外移出が禁止されて居りましたが九月二十四日附で解除されました。下落してゐた

等級	名	性	血統	田	氏	名
一等	一さかえ	牝	子宮	西臼杵郡日ノ影町	甲斐	牛松
二等	三ふるしろ二ノ一	牝	子宮	西臼杵郡日ノ影町	河野	榮
三等	四のり	牝	子宮	東臼杵郡諸塚村	西村	直
四等	五のり	牝	子宮	東臼杵郡諸塚村	奈須	茂太郎
五等	六のり	牝	子宮	東臼杵郡門川町	興	力
六等	七のり	牝	子宮	東臼杵郡門川町	松本	五郎兵衛
七等	八のり	牝	子宮	東臼杵郡門川町	鈴木	敏行
八等	九のり	牝	子宮	東臼杵郡門川町	宮田	藏吉
九等	十のり	牝	子宮	東臼杵郡門川町	興	太桂

總成績は 一等一六頭 二等一七頭 三等二〇頭 四等一七頭 五等一七頭 六等一七頭 七等一七頭 八等一七頭 九等一七頭

宮崎縣選出牛が斷然優秀であり西臼杵並に日の影の名譽は一時高くなつた感があります。

他の出品も他縣を尻目に九州に頭角を現はした宮崎縣は全國共進會を目指して益々改良に邁進する事です。此の共進會に本村より視察團十五名が乗り込み感激にひたつたのでした。

各縣よりの參觀人二〇万人と申します。各縣共畜産の發展に邁進中の程が察せられます。

來年度は鹿児島で開催予定の全國共進會も開催される予定との發表もありましたので申添えて置きます。

四、東郷村主催畜産品評會開催

十月二十二日開催されました、東郷村畜産品評會は育成牛一九頭、仔牛一七八

合連會等の特別賞を戴きました雨の中に村長は畜産の振興が村興しの根本であるので一層の努力を切望されました。若藤組合長並に來賓各位の祝辭と訓辭は出品者各位の肝に銘ずるものがありました。

感激した受賞者代表の答辭を最後に厳そかに授與式を終りました。

品評會受賞者及成績

仔牛の部 一七頭

等級	名	性	部	氏	名
一等	ますみ	牝	追野内、鹿瀬	増田	万次郎
二等	いけはる	牝	追野内、鹿瀬	平池	徳松
三等	きくなみ	牝	八重原	伊東	菊松
四等	寶山	牝	寺迫、庭田	黒木	新一
五等	明野	牝	鶴之内	鈴野	明
六等	みそら	牝	坪谷、仲崎	小川	要吉
七等	まつかわ	牝	追野内	前田	米作
八等	鶴清	牝	鶴之内	塩月	清
九等	三房	牝	鶴之内	三原	房吉
十等	はつよし	牝	追野内	佐藤	初義
十一等	いすゞ	牝	寺迫、中尾	山本	今朝太郎
十二等	つるみ	牝	小野田、大谷	畝原	鶴見
十三等	いさみ	牝	福瀬、中の原	田邊	伊三郎
十四等	はるえ	牝	寺迫、長崎	安藤	始
十五等	まつえ	牝	寺迫、山の口	黒木	石松
十六等	美和	牝	福瀬、廣瀬	小林	和武
十七等	高月	牝	福瀬、日田尾	高尾	武

等級	名	性	部	氏	名
一等	ふく	牝	福瀬	糸平	熊次郎
二等	いちはな	牝	福瀬	海野	末市
三等	みつゆき	牝	福瀬、廣瀬	岩田	光男
四等	きよひめ	牝	鶴之内	岩本	ミサ子
五等	みのり	牝	鶴之内	三原	房吉
六等	かみつ	牝	追野内、河原	中野	吉之進
七等	まつかね	牝	福瀬、鳥川	塩月	儀七
八等	ゆきなを	牝	中の原	直野	保
九等	たかはな	牝	鳥川	塩月	綱雄
十等	かずはな	牝	日田尾	高尾	稔
十一等	みのり	牝	廣瀬	岩本	稔
十二等	えいらく	牝	八重原	奈須	仁吉
十三等	第二	牝	羽坂	奈須	松太郎

市場名	開設月日	市場名	開設月日
南郷村 上渡川市場	十一月九日午前九時	門川町 古川	十一月十七日午前九時
神門	〃	北方村 會木	〃
休(旅行日)	〃	延岡市 延岡	〃
椎葉村 椎葉	〃	延岡市 延岡	〃
諸塚村 塚原	〃	北川村 熊田	〃
西郷村 田代	〃	北川村 熊田	〃
東郷村 山陰	〃	北浦村 古江	〃
日向市 日向	〃	南浦村 三川内	〃

市場は牛の買手所又賣る所 市場で牛を賣らないと次の弊害(損)が生ずる

- 市場が振るはず商人が付かない。
- 市場で賣らない牛は后で商人の手を二回も三回も経なければならぬのでそれだけ生産者が損を見越さなくてはなりません。
- 仔牛が村に残る程其の數だけ親牛が村外に出るのだから仔牛生産がよくなることと肥料生産努力の利用が少なくなりませう。
- 次ぎの仔牛生産がおくれ少しいの得を目當て

畜産發展のために 十一月の下旬に牛の登録検査が實施されることになつて居ります。

受檢年令は生后十八ヶ月から三十六ヶ月までになつて居りますが、三十ヶ月前後が良いのです。今度は特に月が過ぎてゐても登録検査に受付けて戴く心組んで居りますから昭和二十四年生れの牝牛は受檢する様おすめ致します。

受檢資格 以上の年令の範圍内の牝牛で續登記證明書を交付されて居る牛で

十月一日執行された衆議院議員選挙並に最高裁判所裁判官国民審査投票及び十月五日執行された縣及村教育委員選挙並に村議會議員補欠選挙は兩日とも天候に恵まれ従来にならぬ優秀な投票率を示し村民各位の御協力によりまして一件のあやまちもなく無事に終了

選挙の結果について!!

結果を総合して最も投票率のよかつた田野、追野内、仲深の三部落に對し十月九日部落駐在所長會の席において表彰式を舉行、表彰状と金一封を贈呈してその名譽を表彰しました。

部落名 投票率

田野 九七、七四%

追野内 九七、五二%

十月五日行はれました村教育委員選挙の選挙は立候補者四人で委員の定数を超えないため無投票となり選挙の結果左記の者が當選しました。

當選者氏名

四年委員 二名 橋口和吉 田中利吉

二年委員 二名 日高郡司 高森文夫

次に村議會議員の補欠選挙の結果は田中半四郎氏が當選しました。

委員会早急當選人に通知をなし十月九日村議會議事堂で前記五人に對し當選證書を付與しました。

今次選挙を順りみてあれだけ調査を綿密に實施して居りましたに、わが村の選挙に遺憾でありました。

つきましては毎年調製する基本選挙人名簿を現在調製中でありましてこの名簿は十月三十一日まで出来上りまして十一月五日から十五日間役場で一般の縦覧に供します。今回調製する名簿に登録される人はこの九月十五日で三ヶ月以上本村に住所を有する日本人で本年の十二月二十日までに満二十才以上になる人であり、(昭和七年十二月二十一日以前出生者) 委員會で十分入念に調査して調製にかゝるのですがその時不在であつた人などよく脱漏し易いのでお互に右の期間中役場へお出になるようなことがありましたら必ず名簿を御覧になつて確めていたゞくように名簿調製について特段の御協力をお願い申し上げます。

東郷村選挙管理委員會